

|        |                                |  |  |
|--------|--------------------------------|--|--|
| 開催協議会名 | 令和7年第3回出雲警察署協議会                |  |  |
| 開催日時   | 令和7年9月24日（水）午後2時00分から午後4時00分まで |  |  |
| 出席者    | 協議会委員                          | 9人                                     |  |
|        | 警察署                            | 7人（署長、副署長、地域官、会計課長、総務課長、生活安全課長、交通総務課長） |  |
| 会議・協議  | 署長からの<br>諮問                    | 諮問事項                                   | 管内交番・駐在所の再編等に関する構想   |
|        |                                | 説明概要                                   | ○ 再編等に関する構想（将来像）<br>○ 再編スケジュール等  |
|        |                                | 答申(意見等)                                | 1 どのような形になっても引き続き地域の警らや住民とのコミュニケーションをお願いする。<br>【警察】<br>新たな受持ち交番全体で警らや住民とのコミュニケーションを図っていく。<br>2 駐在所に勤務する警察官と地域の者とは家族ぐるみの付き合いをしていた。警察官のところに奥さんや子供がいると地域の者も訪ねやすかったと聞いている。再編されても地域住民が話しやすい雰囲気と地域密着を続けていきたい。<br>【警察】<br>駐在所の家族が来るとうれしい地区があると聞いている。管内居住でない場合も、引き継ぐ受持勤務員へ伝えていきたい。 |
|        |                                | 諮問事項                                   | 高齢者の交通事故防止対策   |
|        |                                | 説明概要                                   | ○ 県内の交通事故発生状況<br>○ 出雲警察署管内の交通事故発生状況<br>○ 高齢者が関係する交通事故の特徴<br>○ 出雲警察署における高齢者の交通事故防止対策  |
|        |                                |  |  |

|                |         |   |
|----------------|---------|---|
|                | 答申(意見等) | <p>1 横断歩道を渡ろうとする歩行者がいても横断歩道で止まらない車があるので、対策を徹底していただきたい。</p> <p>【警察】</p> <p>交通取締りなど交通事故防止対策を徹底したい。</p> <p>2 バイパスの側道を逆走する車がいる。</p> <p>また、都会に比べると島根県は街灯が少なく暗いと感じている。</p> <p>【警察】</p> <p>逆走する車に対しては、道路管理者と連携し、分かりやすい表示を設置するなど対応したい。</p> <p>歩行者側も夜光反射材の着用等の対策をお願いしたい。</p> <p>3 自分も運転する際は、急いでいるときこそ、心に余裕を持つようにし、「子供や孫が横断歩道を渡ろうとしている。」と考えて、横断歩道の手前では停止するよう心がけている。</p> |
| 署長からの<br>報 告   | 報告事項    | 高齢者の自宅電話に犯罪グループから電話が架かることを阻止するための取組   |
|                | 説明概要    | <p>○ 休止申込についての資料説明の作成</p> <p>○ 国際電話利用休止申込書の様式改正</p> <p>○ +から始まる電話番号からの着信への注意を喚起するポスターの独自作成</p>  |
|                | 答申(意見等) | 前回の我々の意見が反映されていると感じた。   |
| 委員からの<br>意見・提言 |         | <p>1 来年は道路交通法が改正され、中央線がなく道幅が狭い「生活道路」の法定速度を30kmに制限する旨報道されているが、方向性はどのようになっているのか。</p> <p>また、学校と地域との会合で話題となったが、16歳以上が対象で基本的に歩道での自転車通行は禁止されるということであるが、スクールゾーン以外の場所での対応や住民への働きかけをどうするのかなど知りたい。</p> <p>【警察】</p>  |

現在、広報、啓発に合わせ、地域の意見等も確認しながら進めているところである。

2 高齢者講習は、同じようなものばかりだとの意見があったが、今回、バーチャルを取り入れた教養を見せただき参考となった。

3 車のナンバーの文字が薄くなり見えにくいものを見かけることがある。

**【警察】**

発見すれば指導、検挙を行う。

4 自転車に乗る際、中学生はヘルメットを着用するが高校生はヘルメットを着用していない。

**【警察】**

学校の規則により中学生はヘルメット着用が定められ、規則を守っている。高校生もヘルメット着用を続けてほしいと思っているので、訴えていきたい。

なお、最近は、大人でヘルメットを着用する方が増えているので、引き続き、働きかけていきたい。

最近は、ヘルメットのタイプを選べる学校もあるものと承知している。ヘルメットの着用については努力義務であり罰則がなく、自転車利用者も「自転車が危険な乗り物である」という危険性の認識が低い。引き続き、街頭活動を強化し、ヘルメットの着用について気運を高めたい。





5 交通安全教養について、教習所で診断を行っているが効果的だと思うので、継続していただきたい。

また、スタントマンによる交通事故のデモンストレーションを見た中学生がショックを受けていた。このようなショック療法も必要ではないかと思う。特に高校生は卒業すれば車のハンドルを握れるようになるので、車を運転する者の視点や考え方を知ることも良いと思う。

70歳代の高齢運転者に対して高齢者講習が行われるが、60歳代の免許更新時講習の際にショック療法のものをやってみてはどうか。

6 高齢者講習の対象が70歳以上とされているが、診断等により講習年齢の引き下げも有効ではないかと考える。

7 自分も、これまでに振込詐欺の電話が何回もあった。

|   |   |   |
|---|---|---|
|   |   | <p>先日は入国管理局を名乗ったものであった。高齢者は官公庁を名乗られると信じてしまうが、注意喚起を続けることが大切だと思う。</p> <p>特殊詐欺は、様々な手口でくるが、我々も対抗できる情報を持っていたら詐欺と見破ることができる。</p> <p>8 VR運転の視察は参考になった。運転者だけでなく、歩行者側も危険性を感じることができた。</p> <p>自転車の運転者も並列運転の危険性を感じることが出来るものがあればいいと思う。</p> <p>9 ゴミの不法投棄について、自宅付近の駐車場にゴミが捨てられていることがあり、交番へ相談したところ「回収せずに通報してほしい。」と言われた。今後は交番へ対応をお願いする。</p> <p>10 交通事故も相手の車とアイコンタクトが行えれば事故は防げる。何事もコミュニケーションが大切と感じた。今後も警察とは緊密なコミュニケーションをとっていきたい。100%は難しいかもしれないが、コミュニケーションを取れる人がいれば対応が違うと思う。</p>  |
| 視 | 察 | サポートカー・VR体験   |
| 写 | 真 | <div>  <p>【会長挨拶】</p> </div> <div>  <p>【署長挨拶】</p> </div> <div>  <p>【協議状況】</p> </div> <div>  <p>【協議状況】</p> </div> |



【サポートカー体験状況】



【VR体験状況】